

# 令和2年度 総会資料 (持ち回り審議)

【令和2年5月27日～6月15日】



特定非営利活動法人  
相馬フローアーチーム

## 令和2年度 総会次第

- 1 開会
- 2 理事長あいさつ
- 3 議長選任
- 4 議事録署名人選任
- 5 議事
  - (1) 議案第1号 平成31年度事業報告及び活動決算について
  - (2) 議案第2号 令和2年度事業計画(案)及び活動予算(案)について
  - (3) 議案第3号 理事及び監事の選任について
  - (4) その他
- 6 その他
- 7 閉会

## 平成31年度事業報告書

### 【心のケア事業】

#### 1 事業の実施内容

震災による子どもへのPTSD対策や成長支援を行うため、臨床心理士等の専門家を中心に被災小中学校及びLVMH子どもアート・メゾン（令和元年10月より、相馬愛育園）でカウンセリング等を行った。さらに、被災した子どもに生きる力を育むための情操教育および社会性育成の支援を行った。

#### 2 事業の実施状況

##### (1) 学校巡回カウンセリング

① 回数：延べ 232回

② 対象：中村第二小学校 68回、中村第二中学校 78回、  
磯部小学校 44回、磯部中学校 42回

③ 内容：相馬市内の東日本大震災の被害が大きかった小中学校を中心に、相馬フォローアップチームのカウンセラーが定期的巡回し、児童・生徒とその保護者、教職員を対象にカウンセリングを実施した。

##### (2) LVMH子どもアート・メゾン並びに相馬愛育園における心理相談

① 件数：延べ 349件

② 内容：LVMH子どもアート・メゾン並びに相馬愛育園の相談室にて、18歳に達して最初の3月31日を迎えるまでの子どもを対象に、またその保護者を対象に子育て相談・心のケアを実施した。

##### (3) 相馬看護学校との連携事業

① 件数：延べ 6件

② 内容：相馬看護専門学校の学生に対し、心理支援活動を行った。

##### (4) 心の相談会

① 回数：1回

② 内容：LVMH子どもアート・メゾン多目的研修室にて、相馬市の保護者や支援者を対象にした相談会を実施した。5月に実施した研修テーマは「子どもの適応ー不登校から見えてくるものー」であった。尚、平成31年度の心の相談会は2回（5月と10月）開催予定であったが、10月の講演会は台風19号によってLVMH子どもアート・メゾンが被災した為、中止の運びとなった。

##### (5) 関係機関との連携

① 回数：延べ 490回

② 内容：相馬市地域自立支援協議会（全体会2回、子ども専門部会10回）、要保護児童対策地域協議会（4回）、教育相談員支援者会議（2回）に参加し関係団体等と情報共有を行った。

##### (6) 震災遺児・孤児に対するケア

平成31年度の震災遺児・孤児調査の対象児童・生徒は6名であった。当該児童・生徒については1学期末と3学期末（2学期の情報も含まれる）に、担任や養護教諭等から学校生活などについての情報を収集しカルテを作成した。作成したカルテは市教育委員会に報告した。

##### (7) 緊急支援等の活動

件数：0件

#### 3 事業実施の成果

津波被災地域の子ども、保護者、教職員等に対し心のケアを行った。子どもたちに医学的な診断・治療を要するPTSDの症例は出ていない。しかし、震災から9年を経過した今でも、一部の子どもたちには、家庭環境の変化等により精神疾患や発達障害様の症状を呈する例もあり、継続的な観察やカウンセリング、及び心理社会的な支援が必要とされる。

今年度も、津波被災地域のみならず、相馬市民の子育て相談施設として周知され、その機能を果たすことができた。相談者の利益になる範囲で、教育機関、医療機関、福祉機関といった他機関との連携を行った。

## 【学力向上事業】

### 1 事業の実施内容

- (1) 東日本大震災で被災した相馬市内の中学生を対象に、東京大学学生ボランティアによる学習会（相馬寺子屋学習会）を行った。
- (2) 学習会を通して、生徒の学習意欲を高め、学習習慣を身に付けさせるとともに、将来の職業選択に必要な学力を身に付けさせるようにした。
- (3) 学習会は、相馬市生涯学習会館とLVMH子どもアート・メゾンを会場にして開催した（台風19号等の影響で、11月16日以降は、はまなす館に会場を移して実施した）。

### 2 事業実施の成果・実績

#### (1) 実施内容

① 期間：令和元年5月25日～令和2年2月16日

② 参加ボランティア数：延べ98人

※ 学習会を13回予定していたが、水害により第8回（10/19）を中止とした。

#### (2) 実施場所等

① 相馬市生涯学習会館（はまなす館）

・ 開催回数：12回                      ・ 参加者：中学生延べ271人

② LVMH子どもアート・メゾン（はまなす館）

・ 開催回数：12回                      ・ 参加者：中学生延べ148人

- (3) 成 果：参加した生徒一人一人の学習課題に応じた支援を行うことができた。また、生徒の学習意欲を高めるとともに、学力の向上も図ることができた。さらに、学生との座談会を実施したことにより、積極的な質問をしたり、様々な学習方法にふれたりする場面がみられた。

## 【交流事業】

### 1 事業の実施内容・成果

- (1) 相馬フォロアーチームの支援団体である大阪の「プール学院」との夏の交流事業を計画していたが、交流中学校である磯部中学校から、生徒数の減少（19名）により、生徒への負担感が大きく辞退したいとの申し出があり、実現しなかった。しかし、プール学院の相馬訪問時には、積極的に交流したい旨を伝え、双方で合意した。
- (2) プール学院の生徒が、令和2年3月上旬に本市を訪問する予定でいたが、昨年秋の台風等による水害で、フォロアーチームが相馬愛育園に間借りして活動している状況から、実施できなかった。（次年度は実施をする予定）

### 2 東京大学のキャンパス見学会への参加

(1) 日 時：令和元年8月6日（火）

(2) 場 所：東京大学 本郷キャンパス

(3) 参加者：市内中学生23名（引率2名）

(4) 内 容：① キャンパス見学…総合研究博物館、安田講堂周辺、赤門周辺の見学

② 大学生との交流・昼食

③ 大学の先生による講義の体験

- (5) 成 果：参加した生徒たちは、施設見学や講義等を通して、大学生活についてさまざまな角度から認識を新たにすることができ、大学進学へのあこがれや学習意欲を高めることができた。

また、進路実現までの取り組み、勉強の仕方、学習時間の取り方などについても学んだ。

# 平成31年度活動計算書

令和2年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 受取寄付金		0
受取寄付金		0
2 受取助成金等		0
受取補助金		0
3 事業収益	25,978,510	25,978,510
委託料収入		
4 その他収益	81	
受取利息		
雑収入	2,042,450	2,042,531
経常収益合計		28,021,041
II 経常費用		
1 事業費		
(1)人件費		
給料手当	8,875,923	
法定福利費	1,398,844	
人件費計	10,274,767	
(2)その他の経費		
旅費通信費	1,787,074	
賃借料	1,019,675	
その他事業費	1,422,773	
その他経費計	4,229,522	
事業費計		14,504,289
2 管理費		
(1)人件費		
給料手当	4,807,792	
法定福利費	757,708	
人件費計	5,565,500	
(2)その他の経費		
旅費通信費	227,844	
賃借料	552,325	
減価償却費	1,267,129	
租税公課	1,055,600	
その他管理費	1,299,839	
その他経費計	4,402,737	
管理費計		9,968,237
経常費用合計		24,472,526
当期経常増加額		3,548,515
当期正味財産増加額		3,548,515
前期繰越正味財産額		6,712,020
次期繰越正味財産額		10,260,535

# 貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	5,040,934		
未収入金	4,960,450		
流動資産合計		10,001,384	
2 固定資産			
車輛運搬具	1,226,823		
什器備品	144,067		
固定資産合計		1,370,890	
資産合計			11,372,274
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	1,046,779		
預り金	64,960		
流動負債合計		1,111,739	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			1,111,739
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		6,712,020	
当期経常増加額		3,548,515	
正味財産合計			10,260,535
負債及び正味財産合計			11,372,274

# 財産目録

令和2年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
東邦銀行普通預金 (No.1035128)	5,040,934	
未収入金 受託料(相馬市)	4,960,450	
流動資産合計		10,001,384
2 固定資産		
車輦運搬具		
スズキアルトF (福島580の4217)	1	
ホンダライフ(中古) (福島581の6267)	1	
フリードスパイク(中古) (福島502な4246)	730,987	
ハイゼットカーゴ(中古) (福島480ち5220)	495,834	
車輦運搬具合計	1,226,823	
什器備品		
リコープリンター	1	
知能検査コンプリートセット	1	
知能検査セット	1	
事務所書庫	144,064	
什器備品合計	144,067	
固定資産合計		1,370,890
資産合計		11,372,274
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金		
3月分 電話料	16,264	
3月分 水道光熱費	46,785	
3月分 社会保険料	306,030	
未払消費税等	677,700	
未払金合計	1,046,779	
預り金		
1~3月分 源泉税	64,960	
流動負債合計		1,111,739
2 固定負債	0	
固定負債合計		0
負債合計		1,111,739
正味財産		10,260,535

## 財務諸表の注記

### 1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正  
NPO法人会計基準協会)によつてます。

#### (1)消費税等の会計処理

税込処理である。

#### (2)施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

施設の提供等の物的サービスの受入れは、活動計算に計上していません。

### 2. 事業費の内訳

(単位:円)

科 目	心 理 ケ ア 事 業	寺子屋ふれあい 事 業	プ ー ル 学 院 交 流 事 業	合 計
(1) 人 件 費				
給 料 手 当	8,875,923	-	-	8,875,923
法 定 福 利 費	1,398,844	-	-	1,398,844
人 件 費 計	10,274,767	0	0	10,274,767
(2) そ の 他 経 費				
旅 費 通 信 費	420,634	1,366,440	-	1,787,074
賃 借 料	1,019,675	-	-	1,019,675
そ の 他 事 業 費	2,107,487	-	-	2,107,487
そ の 他 経 費 計	3,547,796	1,366,440	0	4,914,236
合 計	13,822,563	1,366,440	0	15,189,003

事業の共通経費がある場合は、スタッフの従事割合で案分する。



## 令和2年度事業計画（案）

事業を展開するにあたっては、新型コロナウイルスの蔓延拡大防止の観点から、縮小・延期・中止などの措置も十分考慮して進めてまいります。

### 事業内容

#### 1 心理ケア事業

##### (1) 学校巡回カウンセリング

相馬市内の東日本大震災の被害が大きかった小中学校を中心に、相馬フォロアチームのカウンセラーが定期的巡回し、児童・生徒とその保護者、教職員を対象にカウンセリングを実施する。

##### ① 対象校

中村第二小学校、中村第二中学校、磯部小学校、磯部中学校

##### ② 予定される訪問回数

- ・ 中村第二小学校・・・ 86回
- ・ 中村第二中学校・・・ 84回
- ・ 磯部小学校・・・・・・ 42回
- ・ 磯部中学校・・・・・・ 43回

##### (2) 相馬愛育園（LVMH子どもアート・メゾン）における心理相談

相馬愛育園（LVMH子どもアート・メゾン）相談室において、18歳に達して最初の3月31日を迎えるまでの子どもを対象に、またその保護者等を対象に子育て相談・心のケアを実施する。

##### (3) 相馬看護専門学校との提携事業

相馬看護専門学校の学生に対し、心理支援活動を行う。

##### (4) 心の相談会

市内の幼児・園児・児童・生徒の保護者、及び支援者を対象にした相談会を実施する。今回は第2回目となり、今年度は1回の実施を予定している。

##### (5) 関係諸機関との連携

関係諸機関との連携として、関係諸機関との情報交換や研修会への参加（講師としての参加も含む）、下記（6）を行う予定である。

##### (6) 震災遺児・孤児に対するケア

関係諸機関と連携し、対象児童・生徒の経過を把握し、必要に応じて支援を行う等、遺児・孤児の成長を継続的に見守る。

#### 2 学力向上事業

(1) 被災した子どもたちの学力向上をサポートするため、相馬市教育委員会並びに東京大学と連携をしてボランティアの学生に協力をいただき、生涯学習会館を会場にして「学習会」を開催する。

(2) 実施予定回数は13回とする。

#### 3 交流事業

(1) 相馬フォロアチームの支援団体であるプール学院との交流を図る。

- ・ 相馬での交流（令和3年3月上旬の予定）

(2) 東京大学キャンパス見学会を実施する。（令和2年8月）

# 令和2年度活動予算書

令和2年4月1日～令和3年3月31日

(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1 受取寄付金			
受取寄付金			0
2 受取助成金等			
受取補助金			0
3 事業収益			
市委託料収入		22,176,000	
相馬看護学校委託料収入		200,000	
4 その他収益			
受取利息			100
経常収益合計			22,376,100
II 経常費用			
1 事業費			
(1)人件費			
給料手当	8,181,000		
法定福利費	1,223,000		
人件費計	9,404,000		
(2)その他の経費			
旅費通信費	1,800,000		
賃借料	1,020,000		
その他事業費	1,350,700		
その他経費計	4,170,700		
事業費計		13,574,700	
2 管理費			
(1)人件費			
給料手当	4,320,000		
法定福利費	697,000		
人件費計	5,017,000		
(2)その他の経費			
旅費通信費	170,000		
賃借料	552,000		
減価償却費	1,246,000		
租税公課	1,100,000		
その他管理費	716,400		
その他経費計	3,784,400		
管理費計		8,801,400	
経常費用合計			22,376,100
当期経常増加額			0
当期正味財産増加額			0
前期繰越正味財産額			10,260,535
次期繰越正味財産額			10,260,535

### 理事及び監事の選任について(案)

役 職	氏 名	備 考
理 事	羽根田 万通	
理 事	長 有紀枝	
理 事	片 寄 雅彦	
理 事	佐 藤 達雄	
理 事	近 藤 菜々子	
理 事	上 昌 広	
理 事	宮 澤 保夫	
監 事	反 畑 正博	

## 監査報告書

平成31年度特定非営利活動法人相馬フォロアーチームの収支決算について、令和2年5月21日に預金通帳並びに領収書など関係書類をもとに監査をいたしました。

その結果、正確かつ適正に処理されておりましたので、ここにご報告いたします。

令和2年6月10日

特定非営利活動法人

相馬フォロアーチーム

監事 反畑正博 